夕刊
いわき民報

発行所
平市田町48 電381 1222
いわき民報社
編集兼印刷発行人 田原登

10月のコヨミ

1日	新聞週間 共同募金 全国労働衛生週間始る
8日	寒露
14日	鉄道記念日
15日	銃猟解禁
20日	十三夜
21日	秋土用
24日	国連記念日霜降

（ブラジル提供）

城坂市道廃止を留保
存置請願を採択
きょう九月定例市會を開く

九月定例平市会は三十日午前十一時三十五分開会、本年度追加更正予算など二十一議案が提出されたこの日、城坂踏切り廃止決議に伴う市道廃止の善後策に就いて前日開いた市協議会（秘密会）で結論が出なかつたゝめ、午前九時から引続きこの審議は移りやつと結論を見出すに至つたゝめ、議案審議に入る劈頭、市当局からこの『市道廃止の件』が提出され、それと同時に城坂踏切存置委員会から市会に提出された踏切り存置請願書の採択の件につき、金古議長から提案、一括附議された、これに対し各議員から活潑な意見が述べられ結局、踏切存置には市会もあげて運動中であるため、市道廃止の件はこの際、保留とし、地元民の請願書は採択し、この両問題は跨線橋建設特別委員会で充分検討して善処するという意見が強く、採決の結果、満場一致で決定、今後は同委員会を中心に強力な運動を展開することになつた

この日、城山、田町、揺槌小路方面の住民始め上片寄の住民新田橋の陳情を行つた新川町などの住民約百名が傍聴席につめ大盛況を呈した

追豫二千二百万の内容

本年度追加更生予算（三三、三六二、三七〇円）次の通り

【歳出】▼議会費一八〇、〇〇〇円▼役所費七二二、八〇〇円（放送室建設負担金二十万円など）▼警察消防費二、五五〇、一五〇円▼土木費三、三八三、八〇〇円（八幡小路地内道路拡張費、三十米道路仮橋拡張負担金、白銀町悪水改修費など）▼教育費二、四〇五、六〇一円▼社会及び労働施設費一九、〇八〇、二二四円▼保健衛生費一六四、八〇〇円▼産業経済費一七三六、〇〇〇円（減）▼財産費四五〇、〇〇〇円▼統計調査費一二、一八〇円▼公債費四、一五八八二五円▼諸支出金一、〇〇〇、〇〇〇円

【歳入】▼市税六、二二〇、〇七〇円▼平衡交付金四、〇〇〇〇〇〇円▼公営企業及財産収入五六〇、〇〇〇円▼使用料及び手数料二四七、〇〇〇円（減）▼国庫支出金八、八九四、六八四円▼県支出金四四、〇三四円（減）▼寄附金一七四、八五〇円（減）▼繰入金五、五〇〇、〇〇〇円▼雑収入一二三、五〇〇円▼市債七、五四〇、〇〇〇円

提出議案

▼昭和二十八年度平市歳入歳出追加更正予算▼昭和二十八年度特別会計平市競輪事業費歳入歳出追加更正予算▼昭和二十八年度特別会計平市分譲住宅建築事業費歳入歳出予算▼特別会計設定の件▼昭和二十八年度特別会計平市児童遊園地事業費歳入歳出予算▼平市手数料条例改正の件▼平市警察職員恩給条例設定の件▼専決処分について承認を求める件▼財産取得の件（ラジオ福島）▼財産処分の件▼防火水槽築造費及償還方法の件▼梅香保育園建築事業費起債及償還方法の件▼消防自動車購入費起債及償還方法変更の件▼街路新設事業費起債前借方法変更の件▼消防自動車購入費起債前借の件▼街路新設事業費起債前借の件▼一時借入金の件（分譲住宅）▼収入役選任について同意を求める件▼平市公平委員選任について同意を求める件▼平市固定資産評価委員会委員選任について同意を求める件▼市道廃止の件

存置委員會のメンバー

城坂踏切り存置運動は跨線橋建設特別委員会が解散していないため今回の市会の決議によつて同委員会が中心となつて運動することになつたが、同委員会のメンバーは次の通り

▼委員長 水竹伊之助▼委員 鈴木寅次郎、多田井笑治郎、真木植、木村淳、会川良平、鈴木政一、渡辺賢司、野沢武蔵、強口唯七郎、吉田常太郎、鈴木新平、鈴木秋光、金古政通、大嶺庫

議會報告
関内正一
(11)

◇七月九日（木） 晴後曇

第十九回本会議は午後一時四十八分開催二時五分散会、国立近代美術館評議員に竹尾弌君を充てるの件❶地方鉄道軌道整備法案、運輸委員長報告の通り全会一致可決❷大蔵省設置法の一部を改正する法律案、内閣委員長報告の通り全会一致可決❸国際小麦協定を修正更新する協定の受諾について承認を求めるの件外務委員長報告通り全会一致承認、土地収用法の一部を改正する法律案、建設委員長報告通り全会一致可決

第十二回運輸委員会は午後二時二十五分開き五時十七分散会、鉄道敷設法等の一部を改正する法律案、質疑を終了した、道路運送法の一部を改正する法律案について政府委員に質疑を行つた、また株式会社鉄道会館問題に関し国鉄当局に質疑を行つた午前九時半党国会対策委員と党出身委員長との協議会を開き法案審議の進行について連絡協議した

◇七月十日（金） 曇

第十三回運輸委員会は午後一時五〇分開き同五時十五分散会、水先法の一[illegible]改正する法律案鉄道敷設法の一部を改正する法律案、以上両案は何れも原案通り可決した、なお戦歿者遺族靖国神社参拝旅行に対する取扱について政府委員より説明を聴取した、来訪者 兵庫県乗用自動車協会専務理事大山貞雄氏他三名、道路運送法の一部改正に関する陳情、植田万次郎県議、四倉町会議長佐藤広治、古市寿平助役佐藤卓司の諸氏、中村町梅原氏、東北本線電化期成同盟第一会館第二会議室に開く、平小鉄道の件も協議

磐女高の体育祭

磐女高の秋季体育祭は来る十一日本校校庭で盛大に挙行する

湯本のハイク
受付はじまる

湯本町公民館レク部主催の秋季ハイキングは十八日行うが一般町民から十五日締切で申込をうけつけている、コースは勿来関址平潟―五浦―大津で途中宝探しを行う予定

大泉氏が財政委員長
強口市議等反對派が擁立

平市の常任委員長を以て構成する財政委員会の委員長は、前委員長多田井笑次郎氏を推すものと大泉信雄氏を推すものと対立し前回の財政委員会は留保されていたが、二十九日午後一時から開かれた同委員会でも両派が固執して譲らず結局多田井、大泉の両氏が辞退した為、市会三年という最年長の木村淳氏におはちが廻り、全会一致木村委員長推薦に落ついたところ強口議員は強行に無記名投票に依つて確認すべきことを主張、投票の結果

四票 大泉信雄
三票 木村 淳

という申し合せとちぐはぐな結果が現れ、大泉氏が財政委員長に選ばれた、野崎市議は表裏ある委員会の態度に憤慨して委員会を退席するなど財政委員長の選任には悪い後味を残し、今後の運営を懸念されるに至つた

意表の詐術
表面は木村氏推薦

財政委員会を構成する各常任委員長は

▼第一部（総務）多田井笑次郎▼第二部（教育）水竹伊之助▼第四部（商工）大泉信雄▼第七部（水道）野崎喜八郎（以上市政会）▼第三部（衛生厚生）木村淳▼第五部（土木）強口唯七郎▼第六部（農林）鈴木寅次郎氏等七名であつて、市政会は四名の過半数を占めているため、市政会の委員会長確保は決定的であり前委員長の多田井氏再選が予想されていた、然るに強口、鈴木（寅）木村氏等は意表に出て大泉氏を推薦して譲らず、水竹、野崎両氏は多田井氏を推薦、計らずも此処で対立することに成つた、そのまゝ決選すれば大泉氏も多田井氏に同調して四―三の数で多田井氏に決定したと思われるが、前回は満場一致で推選されている関係もあり、決選を留保して二十九日の委員会にのぞんだ訳であるが、市政会の内部撹乱を狙つている強口氏等は表面木村淳氏を承認しながら投票を主張、詐術を用いて大泉氏を当選せしめた

投票の色分けは、木村氏に対し申合せ通り多田井、水竹、野崎の三氏が正直に入れ、大泉氏には強口、鈴木、木村の三氏のほか大泉氏が自身に入れ、全く相反する立場に置かれた訳であるなおこの策謀の裏面には金古議長も一枚加つているらしい

報道の自由を守る〝知る権利〟
第六回新聞週間代表標語

ハネ上るヤミ米
前渡し配給で行詰る

平市内のヤミ米は今、一升百八十円の高値を呼んでいる、これから先きどこまでウナギのぼりするかわからないが、各家庭の主婦たちは一様に明日の食生活に心労している、だがこんなに高いヤミ米にはそう簡単に手も出せないし、また買いたくともなかなか思うように入手出来ないのが現状、時期的に農家の手持米が少くなつてきており、凶作の影響も手傳つてこの附近の農家からは滅多にヤミ米が流れず、主に岩手、宮城や双相両郡からヤミ屋によつて運搬されるが、これも一升二百円と高値をよぶ京浜方面に殆んど流されてしまうので市内の飲食店あたりでもその仕入れには相当苦慮しているようだ

凶作のため農家では供米代金の値上げを叫んでいるが、給料生活者の給金が値上げされねば消費者の食生活はいよいよ深刻になる、八月中、平駅で臨検にかゝつたヤミ米は三百十五件三百六十俵にのぼり、或る一部の奥さんたちは先きを見越して貯金を下げ、盛んにヤミ米の買溜めをしているといつた話もある、一方日雇労務者やその他の家庭では戦時中使つたパン焼器を使用したり、新たにパン焼器を購入する者がポツポツ出て商店界の話題にもなつている

消費者の中には米不足になるといつた予想から主食の受配をいそぎ十月中のものはすでに受配し、結局喰い込み足りなくなると泣きついては先々き前渡しをうけて苦しんでいる、この問題について平地区米穀卸売協同組合の坂本常務理事は『食生活を改善さえすれば戦時中の如き大根メシなどといつた深刻な問題など考えらない』と前置きして次の如く語つている

十月までは米の配給率は二十日分（炭鉱は二十二日分）であるが十一月（新米穀年度）からは凶作のため十七日ぐらいになるかも知れない、最悪の場合でも十五日以下にはならぬ予想で東京では現在、十五日分である、結局十三日か十五日は他のもので主食にかえることになるが、政府手持の外麦、小麦粉が相当あるので、ヤミ米が馬鹿に値上がりしても一升五十五円位で値上げされず、麦は自由販売だから、これを多く混ぜて食べるようにすれば心配はない、小麦粉も多量あるからウドンも値上りせず、現在百匁二十五、六円（上質）だが、これも一日一食ずつ食べるようにし、特にパンなど燃料費も節約出来るから大いに利用すべきだ、結局米不足を麦、ウドン、粉でカバーし自給のバランスをとり、焦つて主食の先渡しをうけ後で困らぬよう、食生活を合理化すべきだ、人造米は政府で近く価格と規格の統制を行うものと思われるが実際一㌔百円といつたヤミ米にほゞ近いようでは消費者も困るとにかく凶作からくるいやな憶測にまどわず、食生活を合理化すべきでしよう

建設委ら來平

参議院議員建設委員小沢久太郎氏建設省国道課神田技官ら一行は三十日午前九時四十分来小、長瀬助役から港湾、河川などについて説明を聞き、次いで長瀬助役から矢田川の川底浚渫並びに堤防工事の必要性を強調し協力方を陳情した

水素の運動會

小名浜町日本水素では恒例の秋季運動会を十月四日午前八時より宮下駅前の水素グランドで行なう、お雨天の場合は十一日に順延する

本社重役改選
金古専務は退任

本社の第七回定時株主総会は二十九日午後三時からブラジルに開き野沢社長から百万円増資完了とそれに伴う鋳造設備、印刷機能の拡充強化、四頁建遂行など一般営業状態から将来の明るい見通しについて説明し、貸借対照表及び損益計算書を異議無し承認、改選の重役については、専務取締役金古政通氏と取締役野矢安考氏が退任、当分の間欠員のまゝ補充せず、他は全部再選と決つた

取締役社長	野沢 武蔵
取締役	大谷 武雄
同	滝口 登
同	佐々木俊男
同	志賀子之松
監査役	坂井濟之助
同	山田 盤
相談役	関内正一
同	諸橋元三郎
同	猪狩 四郎
同	正木昌次郎

天気予報（卅日）

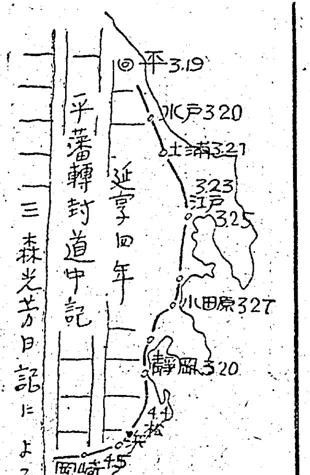
【今晩】北風小雨が降つたりやんだり【明日】北よりの風曇り時々晴れ朝のうち小雨模様、海上今晩明朝とも多少風波がでる程度、やゝ見透しの悪い処もあるみこみ

あみもの生徒募集
○十月の部 五日より 三カ月修（昼、夜）○講師免状授与 職業斡旋 ○あみもの機各種あり月賦も可 御部あり（何式でもお求めの前に御相談下されば説明申上げます）○講習会開催希望の団体はお申越し下さい
平デザイナー編物部（平・土橋 電[illegible]八九）

★★歓迎★★
音樂のシーズン…秋の魁…
梶原完先生 ピアノリサイタル
十月四日（日）於磐女講堂
音楽の店
（タカノ）高野文化堂
平 駅前

名物 じゃんがら
京干菓子
本練羊かん
[illegible]最中
特製 [illegible]のカステイラ
みよし
本店 平市田町電六九一
工場 平市紺屋町電一七〇三

御知らせ
皆様の御協力により今度『糞尿取扱』を平市役所衛生課指定の許可を受け發足開業いたしました、今後御報知次第早速御伺い致しますから何卒よろしく御願い申上げます
御申込は電話一四二八番へ
平市役所衛生課指定
平市衛生協力社
平市九品寺前



平藩轉封道中記 ④

延享四年　三森光芳日記による

鈴木光四郎

三月二十五日　晴　神奈川

三田を過ぎ高輪に達す。熱望の泉岳寺に参詣す。丘上松下に四十七士の墓並立す。大なる墓碑は是れ浅野内匠守様御両所、一同き拝して当時の事を偲び、家老大石氏が城明渡の如何に無念至極なりと追想して我等の身と打比べてぞ涙をそそぎけり。

八つ山を過ぎ品川駅に入る。更に大井村、不入斗村、大森村を過ぎ六郷の渡に達す。多摩川と称する香魚の名産を出す川なり。既にして神奈川に達せり。日本橋より八里半、桝屋に投ず。

三月二十六日　晴　藤沢

鶏の声と共に起きては旅装を整へて発す。行くこと二里半にして戸塚駅に達せり。藤沢を経て茅カ崎に達す。『サワラ』の刺身、照焼、鯛の吸物、塩焼など珍らしきは調理の新鮮清潔なる、主従一族舌鼓を鳴らして賞翫す。

三月二十七日　曇　小田原

春曇か、霧深し。大磯、国府津村を経て小田原城下に至る。西を望めば富岳駒頭を顯はす。富士が見ゆと連呼す。函根、足柄の群山を子供の如く圧しつゝぎ然として際雲に聳つ時正に三月なればがいがいたる積雪半ば山を包めり。美人の化粧するに似たり。世に山を呼びて以て芙蓉が峰と云ふ。宜なるかな。宿舎小清水に投ず。このとき道中に一人は御状箱を棒先に結び一人は高張提灯を持つ又一人は紙幟を状箱の上に立てゝ飛鳥も及ばぬ如く馳せ行く者あり。大名行列の前をも横切りて通行す。これを聞けば『お早』と云ふ。『早打飛脚御用也』と云ふ。江戸より京都まで二昼夜にて達すると。

三月二十八日　晴　箱根山

小田原梅干を購入し父母妻子の薬料に供す、函根街道に就く、岩石の破砕路に横はりて難所となる街道人馬織るが如し。前に早川東に相模川、朝霧の間に早雲山の峰々は翠緑を滴り仙境に入るかとぞ思う。長治は婦人子供を護り光芳は父母の護衛にあたり、山駕籠を用ゆ。道路は険悪を極め流汗背にあまねし賀籠夫にも充分に呑ませ手当を取らせければ彼地に伏して辱けなふして語る。主従一同様の眺合、見たることはあらじと感涙を流す。彼等今は雲助駕籠かきなれど、心中には必ず由緒ある人もと想像しけり。

道路険峻、右折左折して湖に臨み元箱根村に達す。一同無事の登山を賀し函根権現社に神酒を供し感謝す。石内旅館に投ず。

三月二十九日　晴半曇　沼津

頭上、鶯春を謳う。伊豆の平原快濶に開けるを見るなり。右に富岳雲上に現はる。白雪がいがいとして朝旭に映射して雲色殊に清涼を覚う。午時三島の駅に達せり。三島明神に礼拝す。駕籠かきを雲助と呼び或は『ゴマノハヒ』と称し行旅の人大に恐る。然れども彼も人なり。予も人なり。唯時世に投合せず、文武の蔵識もなく、家の訓悔なく止む事を得ずしてこの職業に在り。世の最も可れんの人なり。

磐城平を発して八日目となる。誰一人として風邪さへ引く者なきは祖先代々の御加護と感謝せり。行く事二十余町にして頼朝、義経のかいこうの地、木連川（黄瀬川）に至る。この会見なくば鎌倉の覇業期し難かりしならん。数カ村を経て沼津に達し橋本屋に投ず。

秋の松茸

草野正辰

近ごろはベンリな世の中になつて、冬でも、春でも、夏でも、マツタケが食べられるようになつた有難いと思うのは男ばかりではあるまい。

しかし何といつても、一年中でマツタケの一番おいしいのは、秋のマツタケだ、香り高い高貴あるそのニオイは、当の姿形ちがみえなくても、遠くの方からそれと知られるほどだ、マツタケはどびんでむしても、茶腕でむしても、皿にもつても、底深いうつわに入れても、おいしく食べられる、ナマや冷えたマツタケは全然食べられす、やはり、半開きの品物で、舌がこげるように熱いのを、ほどよい味加減のおつゆをチヨト用いて召上るところに、ダイゴ味がある

丸ごとマツタケを用いる時もあるが、大体は様々料理してからの方が多いようだ、マツタケは高価なものだから、毎日というわけににもゆくまいが、出さかりになつて、いわゆるシユンに入ると割に安くなるから、その時は食べ安くなる、マツタケ料理も松茸だけでなく、やわらかいとりにくなどと合せて料理をするとグツと復雑な味をます、といつてあまりゴタゴタ料理したり、年とつた牛やニワトリの肉と合せては、味がおちてくる、それにお汁があまり少いと材料が沢山いるから、料理には汁気をタツプリにした方が経済的だ

それはともかく、松茸の育つ様子というものはどんなものだろうキン類に属するもの、生長はごく早いと教えられたことがあるが、誰れかトーキーで高速度撮影をやつてみたら、どんなものだろう、ひよつとすると音を発しながら生長しているのではあるまいか、急に太くなるときと、カサが次第にグイグイと広がるときなどは、全然音がちがうのかも知れない、案外スワスワスワスワなんて音が聞えてくるかも解らないし、心臓のコ動のような音響を発しつゞけるかも知れない、もしかすると音などは少しも出さずに、大きくなつてしまうのかも解らない、こういうと、ひとつ今晩あたり松茸のシロを自宅につくつて、マツタケの大きくなつてゆく様子と音を実験してみたくなつた人もあるのではなかろうか

犬殺し場の移轉を陳情

平市桜町市営住宅附近にある平保健所管理の平化製所（建物十坪）は野犬の留置場と殺処分の場所に当てられているが、近辺が住家になつており子供が多い世帯があつて教育上からも目の前で犬を殺すのをみせるのは悪く、その上煙突が低いので煤煙が窓越しに入り、また小舎の手入れ管理がわるいためか臭気がひどく吠え声が昼夜うるさいとあつて環境上悪いからどこかへ立ちのきして欲しいものだと一カ月前ごろ平保健所の階所長に附近住民が陳情を行つたことがあるが、なんらその後改善されることなく放置されている状態なのでこの住民達の嘆きは大きく話題を呼んでいる

これに対し平保健所では敷地が市所有地であり他の人家のない場所といつても候補地がなく他所へ移転することは困難だ、また野犬の留置期間は五日間と規則にあるのでどうにも吠声の処置はならないし幾多の問題があるためにすぐには改善できないが将来は移転しようと考えていると語つている

野球見物の團体を募集

常磐観光社では来月下旬仙台球場で行われる次の二つの日米対抗野球見物の団体募集をしている

▼十月二十二日ニユーヨーク・ジャイアンツ対巨人国鉄▼十月二十四日全米オールスターズ対全パシフイツス

湯本圖書部會

湯本町公民館の図書部主査会は十月三日午後三時からひらき十七日から二泊三日の予定で行う視察研究旅行、[illegible]部分につき協議す

落書さん (13)

平家鴨太

若木至　画

夢子 ⑦

『幌馬車』でコーヒーを飲んでから、夢子と畠山六助は、三越前から数奇屋橋の方に、雑踏する舗道を歩いて行つた。

夢子は、このあいだ六助が買つてくれた煉瓦色の地に、サヤ形を浮き出したコマヨリの単衣を着ていた。ライトグレーの背広に濃紺の蝶ネクタイをした畠山六助と並んで歩くと、どうみても囲いものといつた感じで気がひけた。しかし、六助の方は、ひどく上機嫌で友人にでも出会つたら、得意に紹介でも仕かねまじきハリキリ方である。

その二人の姿を、村雨源九郎が『和光』の前で見つけて馬荷四郎に報告したのである。

朝日新聞の前で、畠山六助はタクシーを拾つて、夢子を促した。買つた家を夢子に見せようというのである。

タクシーは、神田から、音羽に抜け、忽ち池袋の西口に出た。それから十分ほどで、もとの長崎東町、いまの要町こゝら一帯は人家がまばらだつたので戦災を免れ、庭樹の茂つた閑静な住宅街だが、池袋に地下鉄が開通したら、この辺は中心地になつてくるから、東京の西北地区では一等地であろう

『こゝが飽きたら、売つても損はない』

と畠山は、いつか本音を吐いたことがある。

バラの垣をまわした花園の前でタクシーを降りると、杉垣にそつて二、三分、家は古いが庭が二三十坪あつて、静かな住居、もと香山県知事の東京住宅だつたという話だが、八畳に六畳、六畳の茶の間に四畳半の洋間、女中部屋に台所と湯殿がついているから女中を一人おいての女一人の隠れ家には住宅事情のきゆうくつな今の東京では勿体ない話で、この家を四百五十万で買つて夢子に住わせるという畠山六助の本心が、夢子には何んだかわからなくさえなるのである。

畠山六助は、自分で先に立つて部屋を一つ一つ夢子に見せながら

『どうじや、気に入つたか』

と、夢子よりもむしろ御自分の方が一足先に満足の体だつたが、夢子にはまた夢子のよろこびがあつた。

女の運などというものは全くわからない。つい去年まで、こんな家に、自分が主人として住めるようになろうなどとは夢にさえ思わなかつた。それが今、こうして庭に咲いているコスモスも、明るい芝生も、廊下にさし込む秋の陽も夢ではなく現実である。

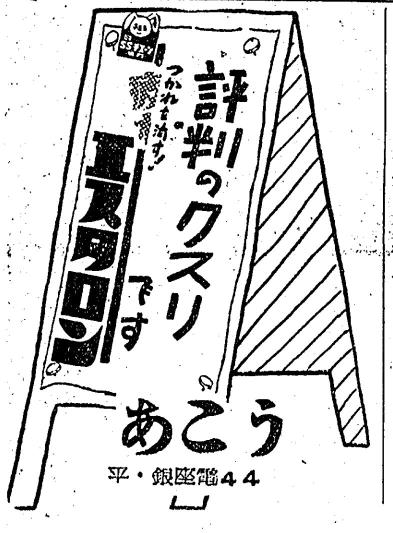
夢子は、つい浮き浮きとして、きて、台所や、湯殿や、押入など女らしく、こまかに見てまわりながら

『とても素敵よ、素晴しいわ』

とさすがにかくしきれぬよろこびが込み上げてくるのだつた。

『夢子』

畠山は、初めて彼女を呼捨てに呼んで近寄ると、ガランとした空家の六畳の真ン中で、夢子の身体を強く抱きしめ、接吻した。


評判のクスリです
つかれを消す！
エスタロン
あこう
平・銀座電44

松竹人氣スタア總動員
岸恵子　佐田啓二　淡島千景　川喜多雄二　月丘夢路　淡路恵子　小林トシ子　野添ひとみ
笠智衆　三井弘次　市川春代　市川小太夫　須賀不二夫　望月優子
詩朗読　阿里道子
松竹映畫
君の名は
7日から　平館
超豪華大作　NHK連續放送劇の映畫化　原作菊田一夫　監督　大庭秀雄

同時上映
新東宝映画
娘を売る街
赤線區域
売笑婦に転落した三人の女の告白！

かっぽう
開花

カメラは田中

日本製鋼所の技術です！
PINE
パインミシン
石川ミシン商會　平市二丁目電1232

浴場改築落成
[illegible]

医療法人
松村病院
本院　平市南町二三　電一〇七番
第二病室　平市小太郎町一八　電一六九六番
外科　院長　松村亭
整形外科　性病科　主任　田邊勇成　医員　高野節哉
内科　胃腸科　呼吸器科　第一内科主任　岸本隆夫　第二内科主任　岡崎仁　医員　小野實
婦人科　主任　松村亭
歯科　主任　松村政次
技工部　吉田吉之助
レントゲン放射線科主任　新妻春治
薬局　薬剤師　菊池政次

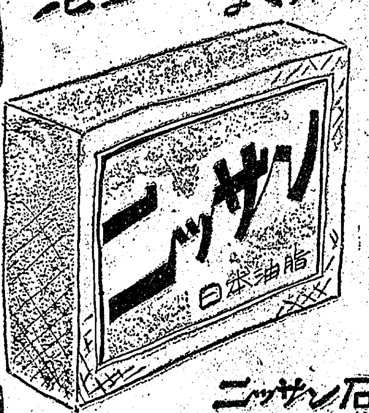
○喜多流　謡曲　仕舞　お稽古
○幸流　小鼓
毎週月　水　金
平市田町六九　電一二七
白土稽古舞台

デザインと技術を誇る！
平AD社のネオン

食堂とデパート
不二屋
アイスクリーム

一貫作業による最低費用
平市一ノ一　三ノ二
（TEL1300）

生地がイタマズ
泡立よくてよく落ちる！



ニッサン石鹸
洗濯石鹸　化粧石鹸
福島縣總代理店
株式會社佐藤商店平支店
平市五丁目17（電376）

蛇の目ミシン
平市南町電九六〇
草野ミシン商會

二生徒を表彰

磐高焼失二周年の記念行事

県立磐城高校では十月一日の校舎焼失二周年記念日に校内防火活動に功労のあつた三年生青田文雄（一八）＝平市八幡小路＝同山名隆視（一八）＝平市道匠小路＝の両君を表彰するとともに、生徒から募集した防火標語の入選作発表と平消防署の協力で防火、避難の両訓練を行い防火思想の高揚を図る

表彰される両君は去る五月五日の新校舎落成式当日発足した同校防火整備班に加わり落成式に参列した来賓に振舞うパンを運んできた製パン店のオート三輪車が玄関前でガソリンに引火して火ダルマになるのを見つけて消火に尽力したほか、毎水曜日に行われる防火訓練には無欠席で参加し、常に校内の防火施設を点検して不備な箇所を修理するなど互に力を合せて同校の防火活動に貢献したもの、入選標語次の通り

❶『責任と習性で築け防火壁』三年田巻賢二郎❷『建てた努力で燃やさぬ努力』二年仙北徳孝❸『防ぐ火事より出さぬ火事』三年大平康❹『油断不始末火事のもと』二年遠藤英男『火の用心口で言より実行一つ』一年遠藤浩一

（写真は青田（左）山名の両君）

富田君を表彰

貴重な鑛石を蒐集

夏休みを利用して県内各地をめぐり貴重な地学の鉱石を蒐集した努力の磐高生が十月一日の同校火災二周年記念日にまれに見る努力生として表彰される—

努力の主は同校一年生富田和雄君（一五）で夏休みの宿題に出された地学の水成岩、火成岩、変成岩などの標本作成に専念し県内各地をめぐつて五十種類の貴重な鉱石を集めたもので、作品は中央学界でも注目するほど優秀なもので容器も東京一流標本店に注文してつくり鉱石はすべて学術標本の規準（タテ七センチ、ヨコ十センチ）に合致したつぶそろいで黄銅鉱（学名モリブテン）黄鉄鉱（ベクマタイト）マンガン、天然硫黄、二枚介の化石（カルジユーム）浅貝層の標本化石、マテス（クルテルス）角貝（デンタリユウム）など玄人でも蒐集が難かしいという珍らしい鉱石も含まれているが、専門家の話では植物化石がないのが惜しいが優秀な標本だということで同校では学術標本として寄贈してもらい永久保存するといつている

（写真は標本と富田君）

少年窃盗團擧る

平市内、内郷の商店街を荒す

内郷地区署では二十四日から窃盗の疑いで小中生十名を検挙取調べていたが、この少年たちは昨年六月ごろから今年九月上旬ごろまでの間にそれぞれ二八、三八とグループを組んで二十三回から三十四回ぐらいにわたり平市紺屋町飯田カメラ店から小型カメラ一コ、同三丁目吉田時計店から金時計二コ内郷町宮字金坂大滝本店から萬年筆二十本、同町金坂佐藤呉服店から反物二反その他小名浜、湯本、好間、平を股にかけて荒し廻りマンガ本、衣類、食糧品など計二百六十八点、十万円相当を盗み入質して映画、買食いなどにつかつていたことがわかつたので二十九日児童相談所に書類を送つた、この少年たちはいずれも触法少年でグループに顔をきかせるため盗みをはたらき腕自慢をしているもので同署では一月から八月までの間に少年犯罪がすでに四百件を数え百十二名にのぼり再犯者が多く激増の一途をたどつているので家庭防犯の徹底とグループ撲滅に猛進することになり民間の協力を要望している

十八組が參加

小名濱の職場野球

小名浜町職場野球連盟では秋季歓式大会を三、四の両日、同町第一小、一中の両グランドに十八チームが参加して開く、入場式は三日午前八時三十分より一中グランドで行う、なお準決勝及び決勝戦は十一日の予定、組合せ次の通り

【二中グランド】町役場—日星製作所　消防署—漁協組　丸浜—丸江　臨港鉄道—県水試　海上保安部—臨港、県水試の勝者　運輸省A—青果組合

【一小グランド】運輸省B—磐城日々　繊維組合—東北電力　遞郵クラブ—専売公社　旅館組合—遞郵、公社の勝者

亂暴勞務者を就勞停止

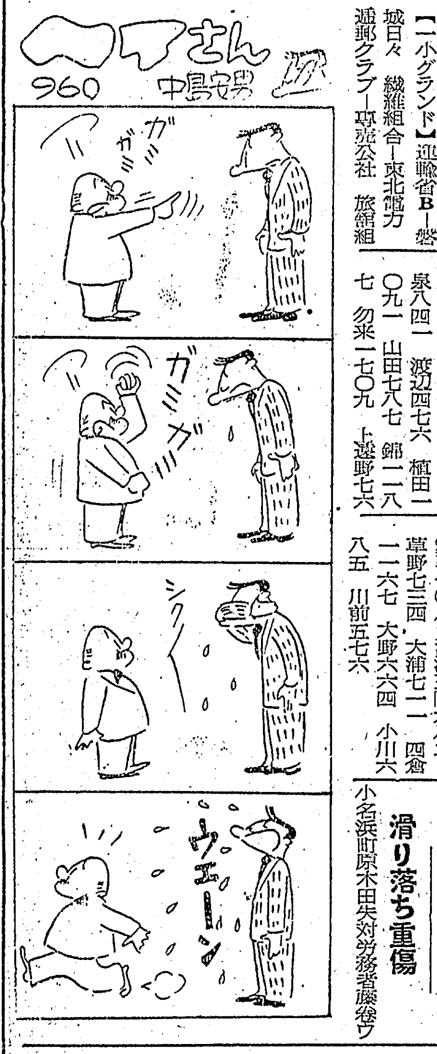
平職安所では一日好間村北好間三反田自由労務者菅田義太郎（三二）磐崎村藤原自由労務者斎藤五郎（年令不詳）の両名に不正労務者排除準則を適用、菅田は明年二月末日まで斎藤は十二月末日まで就労停止する旨通告した、菅田は去る二十八日平矢対事務所好間村川中子現場で監督補助員佐藤卓也さん（三二）に作業時間の短縮を要求して断わられるや石を投げつけたりこん棒を振り上げて追い廻したりした挙句手拳で顔面を殴りつけ暴行脅迫したもの、また斎藤は去る二十六日午後二時ごろ磐崎村地内湯本—石川線県道工事現場で監督補助員小池勇さんに就労させろと要求したが、紹介時間が過ぎているからと断わられてふんがい、小池さんの左脚をけとばしたもので平、湯本の両地区署でも調査を進めている

″赤い羽根″運動

一日から愈よ展開

『赤い羽根』共同募金はいよいよ明一日から一カ月にわたり一斉に展開され、街頭募金、戸別募金、などの運動が繰り展げられる、石城郡下（平市を除く）の目標は三百三十一万円で各町村別募金目標額は次の通り、単位は百円

泉	八四一
渡辺	四七六
植田	一〇九一
山田	七八七
錦	一一八七
勿来	一七〇九
上遠野	七六九
入遠野	六八四
川部	一七〇九
田人	八八四
夏井	五一六
高久	五二五
豊間	六四三
江名	一四二〇
鹿島	四七四
小名浜	二八一二
磐崎	一三一一
湯本	三三五七
内郷	三六一五
好間	二三六六
赤井	一一五五
永戸箕輪	七〇八
沢渡三阪	六八二
草野	七三四
大浦	七一一
四倉	一一六七
大野	六六四
小川	六八五
川前	五七六



五日から開校

平市の成人學校

第六回平市成人学校は十月五日から十一月七日まで五週間毎日午後六時半から午後八時半まで市公民館階上に開く、希望者は四日まで市公民館へ、一学科の入学金五十円、学科と講師次の通り

（文学）▼和歌、白木英尾先生▼俳句、渡辺何鳴先生（家庭）▼家庭で出来る食品加工及栄養平一中、小谷端夫先生（理科）▼わが郷土の地質、平工高吉田民衛先生▼わが郷土の植物、磐女高佐藤永先生

滑り落ち重傷

小名浜町原木田矢対労務者藤倉ウメさん（三二）は二十九日午後二時ごろ同町岡小名地内の平—小名浜線県道新設工事現場で土砂運搬中のトロツコから誤つて滑り落ち右大腿部に全治一カ月の重傷を負つた

はねられ負傷

湯本町天王崎四九酒井秀子ちゃん（三つ）は二十九日午後六時二十分ごろ同字地内の県道上で小名浜町本町五七三崎屋本店社員岡山武さん方のトラツク＝運転手猪狩克雄（三二）＝にはねられ頭部に全治十日間の裂傷をうけた

連合修學旅行

湯本二小、磐崎小、藤原小の連合修学旅行は十日東京方面に日帰りで行う

郷土力士星取表

十一日目吉葉山　[illegible]　時津山

今晩のラジオ　30日

七・三〇　物語『好人物夫婦』志賀直哉作　細川ちか子

八・〇〇　落語『にせ稲荷』橘家円蔵外

一〇・一五　エンタツの名探てい『秋祭りのある村』

第二—七・〇〇　夕べの音楽　—フレセドのテイピカ楽団

緬羊飼育者の皆様へ

從來の坂本産業の紡織部を擴充いたし今度獨立して新に福陽紡織株式會社として發足いたしました何卒宜しく御援助の程お願いたします

●毛糸　メリヤス　服地加工

平市月見町五八（電一〇五七）

福陽紡織株式會社

代表取締役　國井一巳

取締役　坂本豊

★毛糸小売いたします

★羊毛高価に買入れます　一ポンド一四〇〇円

女工さん至急募集　若干名

平市内在住年令十八歳未満

★内職あり

求む　事務所

但し平市内　月家賃千五百円位

姓名在社（17）

◎月拂い建築で共同住宅!!

▼二戸建（一戸＝六畳、四畳半、台所、便所付）▼場所　小名浜町松ノ中地区　小名浜町大原地区▼共同住宅の建設を当出張所で計画しております　御加入になれば家も土地も皆様のものになります

申込所　日本建物ＫＫ小名濱出張所

小野幸次郎事務所　小名浜町下町一八　古港一九二

希望に胸ふくらむか？　北欧婦人

スエーデン婦人の胸の幅は三十五インチで世界最大。日本と米国は三十四インチで最小。ですからブラジヤーは日米とも三十四インチときまつています

●ブラジヤー　一六〇円—三五〇円

●コルセツト　四五〇円—千百円

●パツト　九〇円—一一〇円

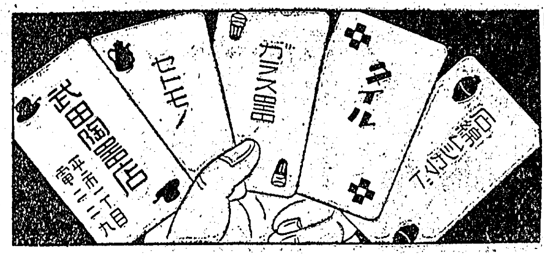
女子店員募集

藤越　小名浜　平市

肉の御用は

三三三屋へ

TEL・323


武田陶器店
平市三丁目
電三二九
セトモノ
ガラス器

いわき名物　銘菓

常磐　黒ダイヤ　最中と羊羹

平市田町　電936

市川パン店

明るい家庭

宝定期預金を

無税　一口千圓　六カ月　特賞10萬圓以下

空くじなし　無記名でもお取扱いたします

皆様の　大東相互銀行

毛布

平専門店会の店

中野洋品店

美味しいみりん乾と

水産練製品には絶體必要

世界的の調味料

味楽

ミラクル

よい味が出ます

一番經濟的です

グルタミン酸ソーダ99%以上

本社東京　新進食料工業株式會社　前橋大阪

特約店　茗荷屋商店

名代　義登女の支那そば　ワンタン　電二〇四

御挨拶

初秋の候益々御清榮の段慶賀の至りに存じ上げます

陳れば、長期に亘る弊矢郷炭鑛の租鑛權に關する問題は、世上を御騷がせ、從業員の生活問題に發展し、官廳は勿論業界その他關係各位に多大の御心配を御懸け致しましたことは誠に遺憾に堪えない次第でありまして、茲に謹んで御詫び申上ます

然るに今春以來、東京通商産業局、官選管理者並に地元各位の並々ならぬ御同情御聲援により、今回鑛業權者川合昇氏と完全なる了解を得ることが出來、圓滿解決し、近く再開の運びに至りました。

右御報告申上げますと共に、長期に亘り大方より寄せられた絶大な御理解御後援を深謝し、操業開始後は、倍舊の御引立を併せて御願申上げる次第で御座います。

右不取敢紙上を以って御挨拶申上げます　敬具

昭和二十八年九月三十日

石城郡内郷町大字白水

王城第三炭鑛（矢郷炭鑛）

矢郷倉造

職員一同

勞働組合一同

各位

わたしのふるさと

懐かしい火打祭

永井佳子

西行法師の『みちのくの木奴美ケ浦に一寝して明日は拝まん波立の寺』で有名な磐城三薬師の一つ波立薬師と日本百景の一つ磐城新舞子との間大平洋の波に洗われる細長い町四倉が私のふるさとです。

人口は一万余磐城七浜屈指の漁港として知られ海岸は白砂に緑の松原が遠く続きコバルトの海は遠浅で海水浴場として理想的なので夏の賑いは予想外で土用のうしの日などには万余の人で浜辺は人の波です磐女時代水泳の講習がよく当地で行われ私もお友達にまじつて夢中で泳いだものです、又このごろ潮干狩で磯の岩の間に蟹や鮑を追つたのも今はなつかしい思い出です、そのころ魚労も盛んで殊に鰹の時期など朝早く浜に行くと浜の汀は銀色に染まり漁師達の鼻息は凄いものでした、それから古くから火打会という奇習があり旧正月の十二日から十四日の夜にかけて新町組と仲町組の二手に分かれ

老も若きも互に燃えさかる薪を投げ合つて突撃する情景は火龍天に躍り夜空を真紅に染めて全く壮観そのものです、私の家は医者ですので、この時担ぎ込まれる数多くの怪我人を手当するのをこわごわ見ていましたが余り蛮風だというので二、三年前からこの行事は廃止になりました、けれども近郷近在から集まる観衆に揉まれながら見物した火打会の記憶は今も眼に鮮かです、火は藤田東湖先生の崇拝者で床の間には常に『正気歌』の掛軸がかけてありいつもその前に座らされ共に朗誦させられた苦痛は今でも忘れることが出来ません

また隣家が魚屋で荷造つた魚を駅出しする友達の荷車を曳きたくてその車の後押しについて行き往診帰りの父の人力車に途中で遭い叱られた記憶や月の光に濡れた白い砂を踏んで波立薬師にお詣りし山門の両脇に控えた仁王様を穴から覗いてその怪偉な姿に恐れを感じたことなど子供心になつかしい遠い思い出です

四倉駅の構内に続いて日産三万屯を誇る我国有数の磐城セメント四倉工場があります、磐城名物ジヤンガラ念佛の元祖祐天上人生家が今なお存し駅に近い最勝院の境内にはその墓があります、この寺は浄土宗名越派に属し天正年間の開基と傳えられる名刹です、私の生家の裏山は四倉公園で眼下に太平洋を一眺に収め西に遠く湯の嶽赤井嶽の奇峰を望み、その雄大な眺めは子供のころの私にそこはかとない未来の夢を与えてくれたものです、今ふるさとを離れて幾年啄木、白秋の歌に共感を覚えてじつと目を閉じると『ふるさとはなつかしきかな…』と瞼が熱くなつてまいります

（植田町永井医学博士夫人）

夫に浮氣され病床生活と斗う

カリエス患者の妻

金成女史に聴く

新潟県長岡市にお嫁に行つた人の身の上話ですが、この方は当年三十六歳、旦那さんは日通に勤めているそうです、子供は小学校五年生になる男の子一人、この方が四五年前からカリエスにかゝり永く病床につくようになつた、実母もおつて当初は色々心配してくれたが、旦那さんは妻があまり永く病床にあるため夜遊びするようになり、この時から彼女は精神的にも苦脳し始めて来た、次第にヤケクソになつていく彼女は実母にすらいやがられ小言をいわれるようになつた、みじめになつていく自分の姿を見詰めて『これではいけない！』と何度も反省する時があつたが、この病みを打明ける相手とてなかつた、彼女はその時、昔お世話になつた郷土の恩師（内郷町にいる坂本ユキオ先生）を思出した、早速、手紙に永々と事情を書きつらね、真実その病みを訴え救いの手を求めた、坂本先生は丁度、私が永年カリエスでわずらつたことを知つておつたので『何んとか救いの方法はないものか』と相談にきた、なかなく治らない病気にとりつかれ、夫の夜遊びから心は焦り、イラくする心は病的にまで昂進、自殺まで考えたということだつた、私は若いころ同じ病気で苦しんだので彼女の気持は充分推察でき、深い同情とゝもに私の体験を通して文通で相談に乗つた、私は人事を尽くし、それ以上、自分の力でなんともならないことは望まぬようにたしなめてやつた、心の焦りをとり去ることが先決だつたからで、自分の力以上のものを求めることは神を冒瀆することでもある、傲慢であつて決して病気そのものにとつても精神的にも効果がないことを強調した要は信仰生活に入ることが彼女にとつて今一番大切であることを教えた、このことは相当きびしくいつてやつた、私は十数年ギブスをはめてこのカリエスに病んだが、病気は気から―といつて先ず心に安心立命の念を抱き、必ず治るといつた信念でゆけば一寸したいやなことにもくよくより越苦労しなくて済むことになる、主治医もいたことだろうが私の知己で長岡市にいる医者も紹介してやつた、その後彼女はおぼれる者藁をもつかむ心理からか、とても熱心に真剣に坂本先生や私の言つたことを履行した、彼女は深い信仰生活に生き、やつと希望が持てるようになつた、それからというものは病気も回復し、最近は杖をついて歩行できるようになつた、この程、手紙を頂戴したが『もう私には何の心配もなくなりました、先生方の深い御指導に感謝するとゝもによろこびの生活にうれしなきしています』とのことだつた

批判　家庭と生活と病気の二重の病みを背負つて未だ若い彼女の苦脳は実に切ない気の狂いそうな思いだつたかも知れない、世間にはこれと似た話が沢山あると思う、この場合、自分の力を過信せず、自然の大きな力にまかせ、いたずらにあせつて自分自身を苦しめないことが肝心、彼女がこのような病みにあつたとき、自分だけの胸にしまつておかず、信頼出来る相手をみつけて真実そのまゝを語り協力を求めるといつた賢さがあつたのがこの人の運命を建設的な方向にむかわせた何よりの幸運だつた、絶対女の一人なやみは取越苦労が崇つて好結成を期たさない

映畫評　戦艦大和

玩具の戰艦大和

弱い戰斗場面の迫力

現在の日本映画の技術としては最上の部類に属する特殊撮影や合成撮影で描いた帝国海軍の殲面戦艦大和の最後だが結論は玩具の戦艦大和に落付くようだ

長さ十九尺と十二尺の大小二種の戦艦大和の模型と数百万円に価する花火、火薬を使つて特殊撮影をしたといわれるが、波の大きさと艦の大きさがつり合わなかつたり、大砲を発射すると砲座がぐらぐら動いたり、砲口から出る煙が貧弱だつたりして失笑をかうが、特殊撮影に苦労したことは日本映画界のA級におかれていゝと思う

天一号作戦に赴いて戦艦大和が巡洋艦以下に護られて出撃する場面に軍艦マーチが堂々と使用されているが、目でみて耳できく感動は喫茶店や宣伝カーのスピーカーから流れる軍艦マーチとは大いに異つた感動をうける、もつとも何故片道の燃料で護衛の飛行機もなく制空権の全然ない沖縄近海へ死の出撃をしなければならないかという戦況の説明の不足は否定できない

戦いというものが如何に無惨で冷厳なものであるかは身に覚えのあることだが、士官候補生や傷病兵が出撃直前に退艦を命ぜられるのはみていていゝなアと思つた幹部候補生として配属され父親のような年令の補充兵を部下にサツマイモのツルを海水で炊爭した食糧をたべてあの島でがんばつたことを想い出すときこの映画の作者の意図する齊敵の海軍や流行する反戦映画（一部将校の悪い場面のみを強調した）に対する逆の行き方はうなずける

特別に主演と名のつく俳優はいない副長の藤田進、軍医の見明凡太郎などの演技に感心し、重厚感のあるタイプで、終始熱演の舟橋元などが印象的だ、高田稔という名の古くから名のうれた俳優がほんの申訳的な配役で出演しているのは何か淋しく、この世界の老年期に入つた人々の行末の一ツの型とも思われる

軍艦生活を知らない者にとつては将校が身をさらして対空射撃の指揮をとつたり、外部のハシゴを上り下りするあたりは本当かしらと思われ、船室が士官室と兵室の差のひどいのも陸軍と異る海軍型らしい

軍艦旗がマストにはためくカツトは風と旗の関係がいかにもセツトくさく、海に浮ぶ軍艦旗の印象も弱いが、戦死者の描き方などは変つていて和製戦争映画としてはよく出来ていると思う（R）

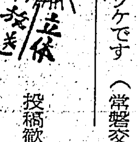
ちよっと一言

バス料金の不合理

バス料金の不合理を世に数多く聞かれます、私もその中の一人です、好間線は道路の悪いせいか他線より料金の高いことは知つております、しかし好間郵便局前より久保町まで十五円街に入ると二十円だとしますと元山より久保町までなら二十円の料金が当り前のように思われます（現在二十五円）常磐交通の回答を望みます（バス通勤生）

回答

料金は規程により五円単位で計算しており、最低十円からとなつています、それで二十二円五十銭の場合は廿五円となり二十二円四十銭までは二十円となります、だから元山から久保町の場合はキロ数により二十三円となりますので四捨五入により二十五円となるワケです、だから百米ぐらい違つても料金には大きなひらきがでてくることにもなるワケです（常磐交通）



投稿歓迎

供出異變

今年は不作ダテ人造米で代替スルベイ

―農民（城山　ゲン）

宣傳時代

飛行機でお迎えに上ります

―第二イワキ（内郷　タツ）

挨拶

海水浴ドキでなくつて幸いでした

―ヘリコプター操従士（小名浜　ケイ）

眞實

アタシは人混みの中でないと寝せないんデス

―精神病患者（隣匠町　トオル）

一日一善

お兄さん一緒に傘に入つていらつしゃい

―ねえちゃん（平市　魚の目）

今日の映畫

★平舘（六日まで）悲しき瞳　半処女
★民劇（六日まで）神変あばれ笠（後篇）スーダンのとりで
★聚楽舘（三十日まで）真紅の盗賊　越境者
★ひかり座（六日まで）戦う鶴鳥師団　かつぱ六銃士
★世界舘（六日まで）怪談佐賀屋敷　飛弾の小天狗　ドナルドの海洋国

利殖と金融

三菱殖産平営業所

本社　東京都千代田区神田神保町3－27
平市白銀町14　（電1381）

銘菓　六段最中

平驛前　電五〇九　平凡

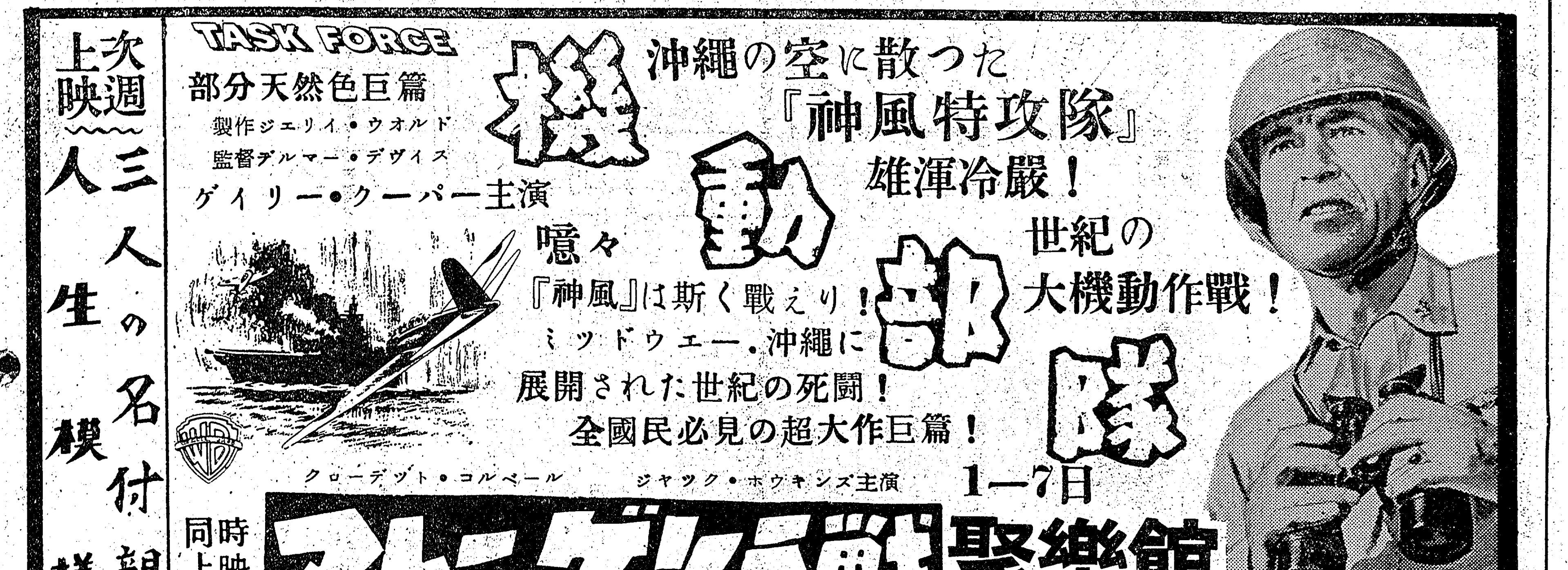
塗料各種

建築　機械　自動車　家具
船舶各種塗料　顔料　その他
塗料用機械器具一式

株式会社　ダイヤ塗料商會
平市南町67平和通り
電話（平）1351番

カネボウ　トーア毛糸

三井呉服店



次週上映　三人の名付親　人生模様

TASK FORCE
部分天然色巨篇
製作ジェリイ・ウオルド
監督デルマー・デイヴィス
ゲイリー・クーパー主演

機動部隊

沖縄の空に散つた『神風特攻隊』
雄渾冷厳！
世紀の大機動作戦！
噫々『神風』は斯く戦えり！
ミッドウエー、沖縄に展開された世紀の死闘！
全國民必見の超大作巨篇！

1―7日　聚樂館

クローデット・コルベール　ジャック・ホウキンズ主演
同時上映　マレー・ゲリラ戦